



角型洗面器

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、角型洗面器をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行
「強制」を示します。

してはいけない
「禁止」を示します。

気をつけていただきたい
「注意」を示します。

施工上のご注意

必ず実行

- (カウンターを取付ける場合)器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。
- 指定位置には必ずシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

注意

- 施工前に、輸送中の破損がないかご確認ください。
- 施工される際、器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。
- ALC壁には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。
- 建築工事(別途工事)にて、寸法図を参考に、器を固定するネジ位置に補強桎(幅90ミリ以上×厚さ30ミリ以上)をあらかじめ入れておいてください。
- タイル・コンクリート壁の場合は同梱のプラグをご使用ください。
- 本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。
- 施工後の確認を必ず行ってください。
- 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器の表面にキズや汚れがつかないように、養生シート等で保護してください。

使用上のご注意

禁止

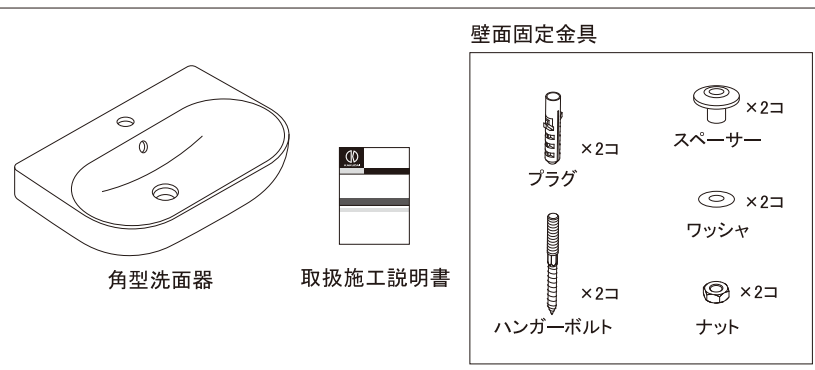
- 器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。

注意

- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- お手入れの際、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。
- 金属類(ヘアピン、カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは、器が破損する原因となりますので、使用しないでください。

製品同梱明細

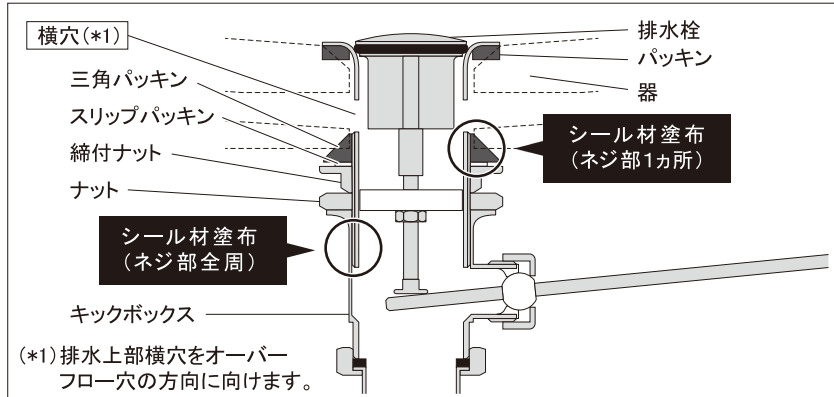
施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



取付方法

1. 排水金具を取付けます。

*下図は排水金具の一例です。詳細は器具の説明書をご参照ください。



必ず実行

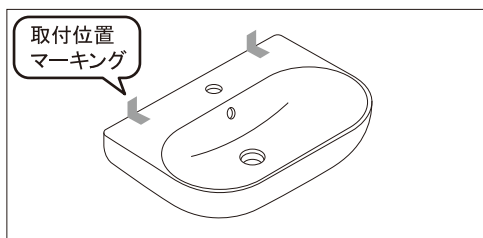
- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

2. 器を取付けます。

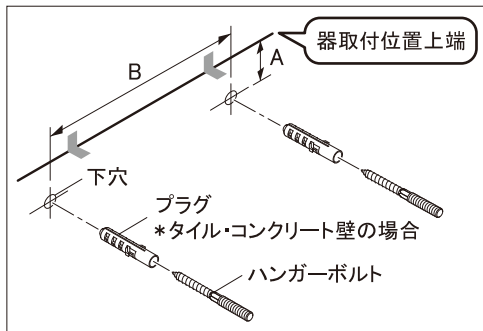


注意

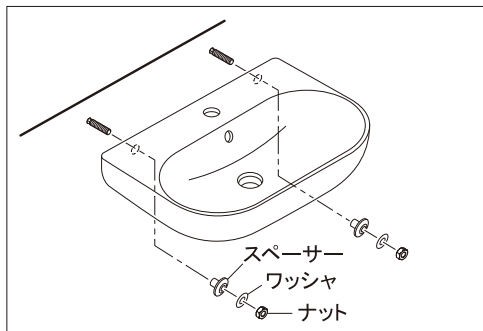
本品は壁面への固定が必要です。
固定する位置には、壁の構造に応じた補強を行ってください。



①器を取付ける位置に仮合わせして水平を確認し、取付位置をマーキングします。
*カウンターを設置する場合は、カウンター設置予定位置もご考慮ください。



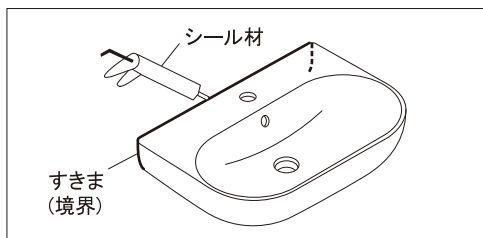
②ビス取付穴の中心に下穴(φ7.5～8.0ミリ)を開け、ハンガーボルトを取付けます。
*取付位置A・Bは器の仕様図面をご参照ください。
*タイル・コンクリート壁の場合は、下穴(φ14ミリ)を開け、同梱のプラグを打込んでください。



③器をハンガーボルトにセットします。
④スペーサー・ワッシャー・ナットを使用して、器を壁に固定します。
*ナットは工具でしっかりと締付けてください。

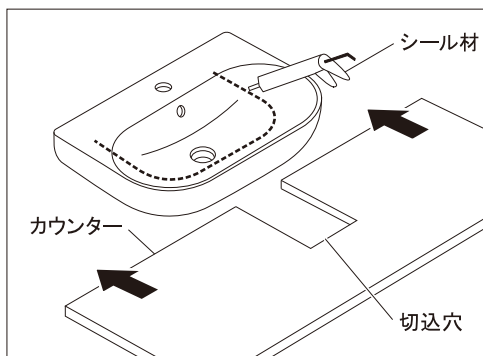
*⑤以降はカウンターの設置の有無により取付方法が異なります。該当の項目をご参照ください。

カウンターを設置しない(壁掛洗面器として使用する)場合



⑤器と壁のすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

カウンターを設置する(置型洗面器として使用する)場合



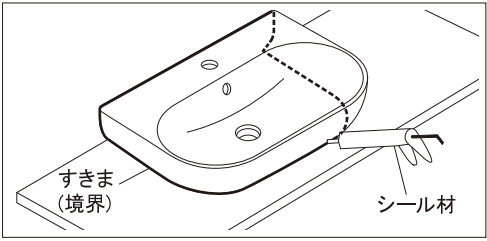
⑤カウンターに指定の切込穴を開けます。
*カウンターの取付けの詳細は、カウンターの説明書をご参照ください。
⑥器裏面のカウンターと接する部分にシール材を塗布しておきます。
⑦器の底面にあうように注意しながらカウンターを壁に設置します。

裏面に続く ➡

取付方法(つづき)

2. 器を取付けます。(つづき)

カウンターを設置する(置型洗面器として使用する)場合(つづき)



⑧ 器とカウンターのすきま(境界)にシーリング材を充てんし、きれいに仕上げます。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

*詳細は器具の説明書をご参照ください。

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態等でその場を離れないでください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工後の確認

*施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認を行ってください。

① 器の取付状態の確認

ガタつきがないか確認をします。

② 水栓の吐水量の確認、および調整

水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。

*水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。

*吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

③ 水もれ、排水の確認

通水・排水経路の接続各部に水もれがないか、排水がスムーズに行われるか確認をします。

*詳細は、各器具の説明書をご参照ください。

メンテナンス等で、止水栓を閉じ、再び開く場合等には、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。(**施工後の確認** ②)